

地域保健福祉課

地域保健福祉課業務概要

地域保健福祉課は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人老人保健事業、性差を考慮した健康支援事業、自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、歯科保健事業、市町村支援、精神保健福祉事業、民生委員・児童委員指導事務、児童福祉事務、母子福祉事務、高齢者福祉事務、障害者福祉事務、配偶者暴力相談支援事業、戦傷病者の援護事務、福祉関係団体育成指導を主要業務としている。

住民に対し、より効果的な保健福祉サービスを推進するため所内の各課と協力し、管内市町及び関係機関と連携をとりながら事業を推進した。

1. 保健師関係指導事業

保健師は地域保健福祉課・健康生活支援課に所属し、必要に応じ連携しながら保健師活動を展開している。

また、管内の保健師活動の充実のために各種研修会を開催し、関係機関との連携を図るために会議を実施した。

2. 母子保健事業

未熟児（低出生体重児）・長期療養児に対し、専門相談・訪問指導・医療給付事業等をおし、必要な育児支援を行った。

思春期保健対策として、学校と連携し児童生徒に対し講演会を実施するとともに、管内の関係者と共に情報交換や連絡会議を開催し、支援体制づくりに努めた。

また、母子保健推進協議会を開催し、管内の母子保健について基礎自治体へ権限移譲される事業を周知し、今後事業の主体となる市町への情報提供と共通認識を得ることに重点を置いた。

母子保健従事者の研修会を実施し、母子保健に係る知識の啓発普及を図った。

3. 成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のためがん検診推進員の育成を図った。

また、生活習慣病等の予防事業が円滑かつ効果的に実施されるよう管内保健師業務連絡研究会等で支援している。

4. 性差を考慮した健康支援事業

思春期から出産可能期、更年期、高齢期の各年代における健康上の問題について、その状態に応じた自己管理の支援のために、健康相談や健康教室を開催した。

5. 総合的な自殺対策推進事業

香取健康福祉センター自殺対策連絡会議を開催し、関係機関と管内の課題を共有し地域における自殺対策の推進を図った。

また、介護支援専門員、民生委員・児童委員、保健推進員、市町村行政職員等を対象にうつ病に関する研修会を開催するほか、地域・職域連携推進協議会と共催で「働きざかりの心の健康」をテーマにシンポジウムを開催した。

6. 地域・職域連携推進事業

地域保健や職域保健が連携し生涯を通じた健康づくりとして、こころの健康づくり「働きざかりの心の健康づくり」をテーマに香取地域・職域連携推進協議会および作業部会にて事業方針や具体策を検討、事業を展開している。

7. 栄養改善事業

専門的栄養指導として潰瘍性大腸炎の患者及びその家族を対象に病態栄養教室を実施し、療養に関する知識の普及に努めた。

若年期からの望ましい食習慣の定着を図るため食育指導者研修会を開催するほか、食生活改善推進員等各種栄養関係団体の育成や情報提供を行った。

給食施設指導は、食品衛生監視員等と巡回指導を行うとともに、施設管理者及び従事者を対象に講習会を実施し、栄養管理の向上と衛生管理の徹底に努めた。

8. 歯科保健事業

在宅要介護高齢者等の歯科疾患の予防を図るためホームヘルパー等に研修会を開催した。

また、口腔ケアの推進を図るため、精神障害者を対象に研修会を開催した。

9. 市町村支援

業務連絡会で各保健事業の計画・実施・評価について検討すると共に、健康づくり推進協議会・障害者自立支援協議会等に参加し、広域的・専門的見地から市町事業が円滑に推進できるよう支援した。

また、市町村へ権限移譲される未熟児養育医療等の円滑な実施のため、管内市町担当者を対象とした権限移譲される事務等に関する説明会を開催した。

また、管内の新任保健師に対し、専門職としての実践能力の向上を図るため研修を実施した。

10. 精神保健福祉対策事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神保健福祉相談、家庭訪問等を実施した。

また、精神障害者の社会復帰支援としてデイケアクラブを開催していたが、参加者が少ない、民間事業所を利用できるなどの理由から9月末で終了とし、かわりに、「病気や障害等同じ境遇を抱える者同士が互いに支えあうこと」のできるピアグループを目指してピアサポート研修を開催した。

また、関係機関・関係職種との連携を深めるため、会議や研修会などを行った。

その他、精神障害者の家族が精神疾患や障害への理解を深め、様々な情報を得る機会として精神障害者家族教室を開催し、精神障害者家族会かとり会の活動も支援した。

11. 民生委員・児童委員指導事務

民生委員児童委員は、社会福祉を増進することを目的として、厚生労働大臣及び知事から委嘱された民間奉仕者である。その職務は、地域住民の生活状態の調査把握、要保護者・老人・母子・心身障害者等の相談に応じ、自立支援や福祉サービスの利用援助などをするとともに、行政機関に協力するなど幅広い福祉活動を行っている。

民生委員児童委員の委嘱・解嘱事務に関する連絡調整及び指導事務を行った。

12. 児童福祉事務

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給した。

また、精神または身体に政令で定める程度の障害を有する20歳未満の児童を監護している父、

若しくは、母又は、養育者に対して特別児童扶養手当を支給した。

13. 母子及び寡婦福祉事務

母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上を図り福祉を増進するため、母子自立支援員が相談・指導を実施した。

また、母子家庭等の自立の助成と生活意欲の助長等を図るため、母子寡婦福祉資金の貸し付け等を行った。

14. 高齢者福祉事務

満百歳者に対し社会発展の功労者として敬愛し、長寿を祝福するため内閣総理大臣から祝状及び記念品を贈呈した。

また、老人福祉施設の入所者で、公的年金などを受給していない人に対し法外援護給付金を支給した。

15. 障害者福祉事務

在宅の重度知的障害者及びねたきり身体障害者又はその家族に、市町が行う手当の給付に対して補助金を交付した。

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例の地域相談員を委嘱し相談にあっている。

また、在宅の重度身体障害者の入浴担架、浴槽等の日常生活用具の取り付けに必要な経費を助成した。

16. 配偶者暴力相談支援事業

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV防止法）に基づいて、配偶者暴力相談支援センターに指定され事業を実施している。

配偶者（婚姻関係と同様の事情にある者を含む）からの暴力を受けた被害者からの相談を受け、必要な助言・支援を行った。

17. 戦傷病者の援護事務

戦傷病者手帳の交付を受けた戦傷病者に対し、補装具の交付と修理を行うと共に、戦傷病者乗車券引換証の交付事務を行った。

18. 児童手当事務指導監査

児童手当法に基づく児童手当の認定・支払事務等の適切な運営を図るため、管内市町に対し、2年に1回指導監査を実施し必要な助言を行った。

19. 中核地域生活支援センター連絡調整会議運営事業

中核地域生活支援センターは、子ども、障害者、高齢者等誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる地域社会を実現するため、各健康福祉センターの圏域に一ヶ所ずつ設置されている。一人ひとりの状況に合わせて、福祉サービスのコーディネーター・福祉の総合相談権利擁護を行い、地域住民の福祉向上を図ることを目的とし、24時間365日体制で相談事業を行っている。

健康福祉センターはこれをサポートし、中核地域生活支援センターと地域の関係機関や関係者との連絡調整会議を開催している。

20. 福祉関係団体育成指導

管内住民の福祉の向上を図るため、福祉に携わる団体等の育成・指導をした。

1. 保健師関係指導事業

(1) 管内概況

管内市町の保健師就業数は、保健所 9 人、市町 32 人で保健衛生関係に従事する者 17 人、介護保険 12 人、福祉 2 人、国保 1 人となっている。

表 1 - (1) 管内保健師就業状況 (各年 4 月 1 日現在 単位：人)

年度・市町別	区分	総数	保健所	市 町			病院 診療所	福祉 施設	その他	
				保健 衛生	福祉	介護 保険				その他
平成 22 年度		40	7	16	4	12 (11)	1	—	—	—
平成 23 年度		39	8	15	2	13 (13)	1	—	—	—
平成 24 年度		41	9	17	2	12 (12)	1	—	—	—
香 取 市		18	—	9	2	7	—	—	—	—
神 崎 町		3	—	2	—	1	—	—	—	—
多 古 町		6	—	3	—	2	1	—	—	—
東 庄 町		5	—	3	—	2	—	—	—	—

(注) (再掲) 地域包括支援センターに属する保健師

(2) 保健所保健師活動

ア. 家庭訪問等個別指導状況

表 1 - (2) - ア 家庭訪問等個別指導状況 (単位：件)

種 別	区 分	家 庭 訪 問		訪問以外の保健指導		
		実 数	延 数	面 接		電 話
				実 数	延 数	延 数
総 数		197	286	532	583	328
感 染 症		7	8	2	3	6
結 核		24	39	6	10	18
精 神 障 害		1	1	1	1	16
長 期 療 養 児		4	6	127	128	27
難 病		33	53	227	235	7
生 活 習 慣 病		—	—	—	—	—
そ の 他 の 疾 病		1	7	12	13	32
妊 産 婦		50	66	6	9	24
低 出 生 体 重 児 (未 熟 児)		54	78	8	11	105
乳 幼 児		22	27	3	4	24
家 族 計 画		—	—	—	—	—
そ の 他		1	1	140	169	69
訪 問 世 帯 数		141	209			

(3) 保健師関係研究会実施状況

ア. 管内保健師業務連絡研究会

表1-(3)-ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催月日	目的・テーマ	主 な 内 容	参加者数
平成 24 年 6 月 1 日	本年度の保健活動計画 災害時の保健活動	今年度の保健活動計画について情報交換 市町災害時保健活動マニュアルの理解と 確認	19 名
8 月 28 日	特定保健指導対象者以外 への対応	講演「富里市における特定保健指導と特定 保健指導対象者以外への対応について」	12 名
12 月 20 日	事 例 検 討 会	グループワーク 事例（未熟児）検討 講師による助言	11 名
平成 25 年 2 月 1 日	介護予防事業の評価 男性更年期障害	介護予防事業について現状報告及び意見 交換 講演「男性更年期障害について」	17 名

イ. 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師研究会状況

開催月日	主な内容	参加人員
平成 24 年 5 月 15 日	・保健師業務研究のテーマ検討	7 名
5 月 25 日	・研究テーマ、研究方法の検討	7 名
6 月 4 日	・調査内容、調査票の検討	7 名
6 月 8 日	・調査票の検討	5 名
11 月 1 日	・研究結果の分析	7 名
11 月 13 日	・研究まとめ、結果の出し方、考察の検討	7 名
11 月 20 日	・研究報告書の検討	6 名

ウ. 管内看護管理者研修会

表1-(3)-ウ 管内看護管理者研修会実施状況

開催月日	主な内容	参加者数
平成 24 年 11 月 7 日	講演及びグループワーク 「医療安全～予防活動と初動活動～」 講師 船橋市立医療センター 副院長 唐澤 秀治 氏	26 名

エ. 保健所保健師利根ブロック研修会

表1－(3)－エ 保健所保健師利根ブロック研修会実施状況

開催月日	主な内容	参加者数
平成25年2月22日 (海匠健康福祉センター主催)	1 講演「説得の心理学」 講師 千葉科学大学 危機管理学部 准教授 戸塚 唯 氏 2 講演「災害時の保健所保健師活動」 講師 千葉大学大学院 看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏	14名 (管内2名)

2. 母子保健事業

(1) 母子保健推進協議会

管内市町、医師会、歯科医師会、児童相談所、母子保健関係者等の代表から構成される協議会を開催し、平成25年度から市町へ権限移譲される事項について周知し、今後の実施主体となる市町への情報共有と共通認識を得ることに重点を置いた。

表2－(1) 母子保健推進協議会開催状況

開催月日	委員数	主な協議内容
平成25年 1月23日	11名	1 香取保健所管内の未熟児養育医療の現状について 2 平成25年度に権限移譲される母子保健事業の実施体制について

(2) 低出生体重児届出状況

母子保健法(第18条)による届出状況は表2－(2)のとおり、平成24年度の低出生体重児の出生は、68人であった。

出生時体重別届出状況では、低出生体重児総数に占める1,500g未満の出生割合は8.8%(6人)であった。

表2－(2) 低出生体重児別届出状況

(単位：人)

年度・市町別	体重別 総計	出生時体重別				
		499g以下	500～999g	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g
平成22年度	63	—	1	3	10	49
平成23年度	60	—	1	3	3	53
平成24年度	68	—	3	3	8	54
香取市	43	—	1	1	4	37
神崎町	1	—	—	—	—	1
多古町	17	—	1	2	2	12
東庄町	7	—	1	—	2	4

(3) 未熟児（低出生体重児）保健指導

未熟児に対し、発育・発達の確認や育児支援のため、家庭訪問等を実施した。

表 2 - (3) 未熟児（低出生体重児）保健指導状況 (単位：人)

区分 年度別	家庭訪問		訪問以外の保健指導（面接）	
	実数	延数	実数	延数
平成 22 年度	81	130	31	65
平成 23 年度	72	112	18	34
平成 24 年度	54	78	8	11

(4) 人工妊娠中絶届出

妊娠中絶実施報告に基づき妊娠週数別年齢階級別に届出数（管外分も含む）を記載した。

表 2 - (4) 人工妊娠中絶届出状況 (単位：人)

年度・ 年齢別 妊娠週数別	平成 22 年 度	平成 23 年 度	平成 24 年 度										
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 24	25 歳 29	30 歳 34	35 歳 39	40 歳 44	45 歳 49	50 歳 以 上	不 詳	
総 数	18	14	17	1	1	3	1	7	4	—	—	—	
満 7 週	11	7	9	1	1	1	1	3	2	—	—	—	
満 8 週～満 11 週	7	7	8	—	—	2	—	4	2	—	—	—	
満 12 週～満 15 週	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
満 16 週～満 19 週	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
満 20 週～満 21 週	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
不 詳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(5) 医療給付事業

ア. 未熟児養育医療

養育医療は、出生体重が 2,000g 以下又は身体発育が未熟なまま出生し入院養育が必要である児に対し、医療給付を行うもので、平成 24 年度の給付は総数 13 人であった。

表 2 - (5) - ア 未熟児養育医療給付状況

(単位：人)

年度・市町別	総数	499g 以下	500～999g	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g 以上
平成 22 年度	18	—	1	4	7	6	—
平成 23 年度	15	—	1	2	4	7	1
平成 24 年度	13	—	3	3	7	—	—
香 取 市	7	—	2	1	4	—	—
神 崎 町	—	—	—	—	—	—	—
多 古 町	3	—	—	2	1	—	—
東 庄 町	3	—	1	—	2	—	—

イ. 自立支援医療（育成医療）

育成医療は、身体に障害を残すおそれのある児童（18 歳未満）に対し、必要な医療の給付を行うもので、平成 24 年度の給付は総数 44 件であった。

表 2 - (5) - イ 自立支援医療（育成医療）給付状況

(単位：件)

年度・市町別	総数	肢体不自由	視覚障害	聴覚平衡機能障害	音声・言語機能障害	先天性内臓疾患その他
平成 22 年度	73	7	5	1	53 (51)	7
平成 23 年度	54 (41)	7	—	—	44 (41)	3
平成 24 年度	44 (18)	10 (5)	—	1	18 (12)	15 (1)
香 取 市	33 (14)	9 (5)	—	—	12 (8)	12 (1)
神 崎 町	3 (2)	—	—	—	3 (2)	—
多 古 町	3 (2)	—	—	—	2 (2)	1
東 庄 町	5	1	—	1	1	2

(注) () 継続・内容変更等の申請の再掲

ウ. 療育医療

療育医療は、結核で長期の療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付及び学用品、日用品の給付を行うもので、平成 24 年度の申請者はいなかった。

(6) 乳幼児専門相談（未熟児等健康相談）

低出生体重児や発達・発育に心配のある児を対象に、未熟児等健康相談を開催し、小児科医師による診察、保健師・栄養士による育児相談、離乳食相談等を実施した。

表2－(6) 未熟児等健康相談状況 (単位：件)

区分 年度別	回数	指導数		相談内容
		実数	延数	
平成22年度	6	55	56	<ul style="list-style-type: none"> ・発育発達の確認 ・栄養面について（離乳食等） ・育児について （児や兄弟への関わり方）
平成23年度	5	50	52	
平成24年度	6	39	39	

(7) 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

平成17年4月1日より児童福祉法に基づく事業となり、対象疾患群の追加、自己負担金の導入等の改正があった。平成24年度は受給者数105名となっている。

ア. 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

疾患名		年度・市町別		平成24年度	香取市	神崎町	多古町	東庄町
		平成22年度	平成23年度					
総数		113	108	105	80	2	9	14
1	悪性新生物	14	16	17	11	2	2	2
2	慢性腎疾患	12	10	9	8	—	1	—
3	慢性呼吸器疾患	4	4	3	3	—	—	—
4	慢性心疾患	25	21	19	15	—	1	3
5	内分泌疾患	24	23	27	20	—	3	4
6	膠原病	6	4	4	3	—	—	1
7	糖尿病	9	8	9	7	—	—	2
8	先天性代謝異常	3	4	3	2	—	—	1
9	血友病等血液疾患	2	2	1	1	—	—	—
10	神経・筋疾患	13	15	12	9	—	2	1
11	慢性消化器疾患	1	1	1	1	—	—	—

イ. 千葉県子ども手帳交付状況

表 2 - (7) - イ 千葉県子ども手帳交付状況

(単位：件)

市町別 年度別	総 数	香 取 市	神 崎 町	多 古 町	東 庄 町
平成 22 年度	4	3	1	—	—
平成 23 年度	6	4	—	—	2
平成 24 年度	11	7	—	1	3

(8) 母子保健関係研修会

表 2 - (8) 母子保健関係研修会実施状況

研修会の名称	実施年月日	参加者数及び職種内訳	研修会の内容
母子保健推進員・ 保健推進員・ 食生活改善推進員 研修会	平成 24 年 11 月 2 日	28 名 母子保健推進員 保健推進員 食生活改善推進員 保健師 栄養士	講演 「妊娠期から乳幼児期の親支援 ～虐待予防の視点から親への かかわりについて～」 講師 中央児童相談所 渡辺 直 氏
新生児・妊産婦訪 問指導者研修会 (海匠健康福祉セ ンター主催)	平成 24 年 9 月 13 日	33 名 (管内 11 名) 保健師 助産師 看護師	講演 「低出生体重児の特徴」 講師 旭中央病院 新生児科部長 松本 弘 氏

(9) 不妊対策事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に
基づく経費の助成を平成 17 年 1 月から開始している。

表 2 - (9) 特定不妊治療費助成実施状況

年 度	実 件 数	延 件 数
平成 22 年度	41	62
平成 23 年度	43	57
平成 24 年度	45	68

(1 0) 乳幼児の病気や事故の予防啓発教育事業

表 2 - (1 0) 乳幼児の病気や事故の予防啓発教育事業実施状況

名 称	実施年月日	対象及び参加者数	研修会の内容
乳幼児救急法 講習会	平成 24 年 9 月 11 日	乳幼児を持つ保護者 参加者数 46 名	講演 「こんな時、どうする？～乳幼児に起こ りやすい病気や事故予防のために～」 講師 総合病院国保旭中央病院 新生児科医師 川戸 仁 氏 講話・実技 「車でお出かけ！あなたのチャ イルドシートの付け方は万全です か？」 講師 株式会社 タカタ

(11) 思春期保健事業

思春期にある者が、生命・性・性差を考慮した健康について理解し、自立した行動がとれるよう、健康教育を実施するとともに、学校保健、地域保健との連携に取り組んだ。

表2-(11)-ア 検討会の実施状況

検討会名	実施年月日	参加者数	内 容
学校と地域における思春期教育のあり方検討会	平成24年 10月12日	32名	①児童生徒の思春期講演会について ②講演会の内容の検討、事前・事後アンケート実施状況について ③学校と地域の情報交換

表2-(11)-イ-(ア) 思春期健康教育の実施状況

実施年月日	対象と参加者数	研修会の内容
平成24年 6月7日	千葉県立多古高等学校 1年生 163名	講演 「望まない妊娠と性感染症予防について」 講師 齋藤助産院 助産師 齋藤 葉子 氏
7月12日	香取市立佐原中学校 2年生 180名	講演 「大切な命 (いのち)」 講師 川島助産院 助産師 川島 広江 氏
7月19日	千葉県立佐原高等学校 (定時制) 全学年1~4年生、教員 88名	講演 「性感染症から自分を守る」 講師 旭中央病院 泌尿器科 主任部長 医師 中津 裕臣 氏 ピアエデュケーション 「一人ひとりがかげがえのない存在」 旭中央病院附属看護専門学校 看護学生 10名
10月4日	香取市立瑞穂小学校 保護者 11名	講演 「生命をはぐくみましよう。やわらかな 身体 やわらかな感性 やわらかなコ ミュニケーション」 講師 川島助産院 助産師 川島 広江 氏
11月8日	県立小見川高等学校 1年生 180名	講演 「尊い生命、思いやる心 ～人と人とのつながりを大切に～」 講師 川島助産院 助産師 川島 広江 氏
11月29日	香取市立府馬小学校 5、6年生 70人	講演 「わたしたちの大切な命」 講師 川島助産院 助産師 川島 広江 氏

12月10日	香取市立新島小学校 5、6年生 保護者 32人	講演 「命の大切さ～かけがえのない私～」 講師 齋藤助産院 助産師 齋藤 葉子 氏
平成25年 2月14日	香取市立大倉小学校 5、6年生 保護者 33人	講演 「おなかの中の赤ちゃんの成長」 講師 香取市健康づくり課 保健師 鎌形 祐子 氏
3月19日	香取市立小見川中学校 1、2年生 470人	講演 「生と性について考えよう」 講師 かとり助産院 院長 助産師 齋藤 葉子 氏

表2-(11)-イ- (イ) 体験学習への参加・協力状況

実施年月日	対象と参加者数	研修会の内容
平成24年 6月8日	神崎町立神崎小学校 5年生 保護者 58名	講演 「大切ないのち ～生まれてきてくれてありがとう～」 講師 齋藤助産院 助産師 齋藤 葉子 氏

表2-(11)-ウ 講演会実施状況

実施年月日	内 容	受講数
平成24年12月12日	講演 「行動の問題の理解と対応」 ～その場に応じた行動、周りの人とのやりとりがうまくいかない子どもたちへの支援～ 講師 こども発達支援センター「そらいろ」 センター長 中島 展 氏	45名

表2-(11)-エ 連絡会議実施状況

実施年月日	構成員	内 容
平成25年2月28日	出席者：20名 健康教育講師（泌尿器科医師・助産師） PTA代表 教育委員会関係者 香取校長会 香取養護教諭部会 市町保健師・保健所職員	思春期保健関係者連絡会議 (1) 平成24年度当センター実施の思春期保健事業の取り組みについて (2) 管内の思春期保健事業の取り組みと今後の課題について ・関係者の連携について

3. 成人・老人保健事業

市町村は、生活習慣病の予防と早期発見、壮年期からの健康保持増進を目的として健康増進事業および特定健診・特定保健指導を実施している。

保健所は、がん検診の受診率向上のためがん検診推進員の育成や、生活習慣病等の予防事業が円滑かつ効果的に実施されるよう管内保健師業務連絡研究会等で支援している。

(1) がん検診の受診率向上のための事業

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成する。

表3－(1) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	内 容	受講数
平成 25 年 1 月 29 日	(1) 神崎町のがん検診の状況 神崎町保健福祉課 保健師 (2) 講演「がん経験者による体験談」 講師 アイビー千葉 (3) 講演「乳がんの早期発見について ～マンモグラフィー検診と超音波検診～」 講師 ちば県民保健予防財団 総合健診センター 診療部長 橋本 秀行 氏	11 名

(2) 介護老人保健施設実地指導

該当施設なし。

4. 性差を考慮した健康支援事業

性差を踏まえた保健医療の視点から、男性も女性もその健康状態に応じ、的確に自己管理を行うことができるよう、生涯を通じた健康づくりの支援体制づくりをおこなう。

(1) 女性のための健康相談事業

表4－(1) 健康相談実施状況

(単位：件)

区分 年度別	回 数	指 導 数		電 話 相 談
		実 数	延 数	
平成 22 年度	4	9	9	38
平成 23 年度	6	10	10	32
平成 24 年度	—	—	—	5

(2) 男性のこころと身体健康相談事業

表4- (2) 健康相談実施状況

(単位：件)

区分 年度別	回数	指導数		電話相談
		実数	延数	
平成22年度	—	—	—	3
平成23年度	—	—	—	2
平成24年度	—	—	—	—

(3) 健康教室

表4- (3) 健康教室実施状況

開催年月日	内容	受講者数
平成24年12月6日	講演「かけがえのない生命～“自分らしく生きる”を 考える～」 講師 川島助産院 院長助産師 川島 広江 氏 対象 県立佐原白楊高等学校1～3年生、教員	608名

5. 地域自殺対策緊急強化基金事業

平成 21 年度から香取健康福祉センター自殺対策連絡会議を開催し、各関係機関と連携し情報を共有する等、地域における自殺対策の推進を図った。うつ病に関する正しい知識の普及として、民生委員児童委員や介護支援専門員等を対象に「うつ病の基礎知識」に関する研修会を行った。

また、自殺を予防するための「周囲の気づき」についてのリーフレット及びクリアファイル作成し、管内の事業所及び地域住民を対象に配布した。

地域・職域連携推進協議会と連携し、労働者への心の健康づくりの対策として知識の普及啓発を図り、各事業所等における取り組みを促すほか、産業保健分野での関係者会議を開催した。

表 5 地域自殺対策緊急強化基金事業 実施状況

区分	開催日	参加者	内容
地域 連絡 会議	平成 25 年 1 月 10 日	23 名	地域自殺対策連絡会議 ・管内自殺未遂者への対応 ・自殺予防の観点から考える相談窓口の周知について
	平成 24 年 7 月 30 日	10 名	職域保健部門関係者会議 ・労働者への情報提供と教育研修へ取り組み推進 ・シンポジウム開催について
	平成 24 年 10 月 24 日	8 名	職域保健部門関係者会議 ・労働者への情報提供と教育研修へ取り組み推進 ・シンポジウム開催について
普 及 ・ 啓 発 事 業	平成 24 年 8 月 2 日	38 名	自殺予防対策講演会（多古町保健推進員） 「精神疾患の現状と周囲を取り巻く環境について」 講師：香取健康福祉センター上席精神保健福祉相談員 鈴木 剛
	平成 24 年 9 月 29 日	54 名	自殺予防対策講演会（香取市民生委員児童委員） 「うつ病と睡眠の関係」 講師：医療法人社団透光会 大栄病院 副院長 北原 達基 氏
	平成 24 年 10 月 12 日	52 名	自殺予防対策講演会（介護専門員等） 「高齢者の精神疾患の特徴」 講師：千葉県精神科医療センター 名誉院長 浅野 誠 氏
	平成 24 年 10 月 16 日	31 名	自殺予防対策講演会（多古町民生委員児童委員） 「高齢者のメンタルヘルスと周囲の対応について」 講師：香取健康福祉センター上席精神保健福祉相談員 鈴木 剛
	平成 24 年 12 月 7 日	85 名	地域職域連携推進シンポジウム 「働き盛りの心の健康」 講師：森川 隆司 氏
	平成 25 年 3 月 12 日	15 名	自殺予防対策講演会（市町、福祉事務所、保健所、その他） 「支援者のためのメンタルケア」 講師：ASK・ヒューマン・ケア研修相談所 所長 水澤 都加佐 氏
	平成 25 年 3 月 18 日	95 名	自殺予防対策講演会（全国理容生活衛生共同組合連合会） 「ゲートキーパー宣言ってなに？」 講師：香取健康福祉センター上席精神保健福祉相談員 鈴木 剛

6. 地域・職域連携推進事業

平成20年度から自殺予防の観点から、心の健康づくり対策として「働きざかりの心の健康づくり」をテーマに総合的な自殺対策推進事業と連動させながら、地域保健と職域保健の連携した取り組みを行っている。

平成24年度は昨年度に引き続き「労働者への教育研修・情報提供」について、各事業所等が主体的に推進できることを目指し、昨年度実施していない事業所で実施した。また、地域住民や関係団体を対象とした研修会やシンポジウムを開催し、広く啓発を行った。

表6 香取地域・職域連携推進協議会及び作業部会等開催状況

開催年月日	出席者数	主 な 内 容
平成24年 7月18日	30名	第1回協議会 議題1 平成20年度からの取り組み概要 議題2 平成23年度香取地域・職域連携推進事業報告 議題3 平成24年度香取地域・職域連携推進事業計画（案）
7月30日	14名	第1回作業部会 議題1 平成24年度香取地域・職域連携推進事業について (1)労働者への情報提供と教育研修への取り組みの推進 (2)シンポジウムの開催
10月24日	13名	第2回作業部会 議題1 シンポジウムの開催について 議題2 労働者等への情報提供と教育研修の進捗状況 議題3 その他 (1)「働きざかりの心の健康」5年間のまとめについて (2)次年度事業の方向性
12月7日	85名	シンポジウム「働きざかりの心の健康」 基調講演 「働きざかりの心の健康」 ～うつサインを見逃さない！自分の気づき、周囲の気づき～ メンタルヘルス対策支援センター 臨床心理士 森川 隆司 氏 パネルディスカッション 「皆で支え合おう！心の健康」 ～地域で 職域で 家族で 今、私たちにできること～ <コーディネーター> 香取地域・職域連携推進協議会長 (香取健康福祉センター長) ・「うつ病当事者を支える家族の立場から」 NPO 法人ザフト 宮城 和子 氏 ・「精神科医師の立場から」 成田赤十字病院 精神神経科 医師 小池 香 氏 ・「事業所の立場から」 サンゴバン・ティーエム株式会社神崎工場 HSE 課長 香取 一成 氏 ・「労働行政の立場から」 成田労働基準監督署 安全衛生課長 内 耕一 氏
平成25年 2月6日	23名	第2回協議会 議題1 平成24年度香取地域・職域連携推進事業報告 議題2 「働きざかりの心の健康」5年間のまとめ 議題3 平成25年度以降の香取地域・職域連携推進事業計画（案）

7. 栄養改善事業

(1) 健康増進（栄養・運動等）指導事業

個別指導では、主に未熟児等健康相談で「授乳・離乳の支援ガイド」に沿った離乳食に関する栄養指導を実施した。

また、集団指導は、関係団体の講習会において受動喫煙防止のための普及啓発を行うなど、健康づくり意識の高揚に努めた。

表7－(1) 健康増進（栄養・運動等）指導

(単位：人)

区分		実施数				(再掲) 医療機関等への委託			
		妊産婦	乳幼児	20歳未満乳幼児を除く	20歳以上妊産婦を除く	妊産婦	乳幼児	20歳未満乳幼児を除く	20歳以上妊産婦を除く
個別指導 延長 人員	栄養指導	—	26	—	5	—	—	—	—
	(再掲) 病態別栄養指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	(再掲) 訪問による栄養指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	運動指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	(再掲) 病態別運動指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	休養指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁煙指導	—	—	—	2	—	—	—	—
集団指導 延長 人員	栄養指導	—	—	—	184	—	—	—	—
	(再掲) 病態別栄養指導	—	—	—	46	—	—	—	—
	(再掲) 訪問による栄養指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	運動指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	(再掲) 病態別運動指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	休養指導	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁煙指導	—	—	—	1,128	—	—	—	—

ア. 病態別個別指導状況

表7－(1)－ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		—	—	—	—	—	—
病態別運動指導		—	—	—	—	—	—

イ. 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) - イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

教室名	回数	参加延人員	主な内容
病態栄養教室	1	26名	講話 「潰瘍性大腸炎の食事～無理をしない食事～」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院 栄養部室長 有賀 喜代子 氏

ウ. 若年者の健康づくり推進事業

食育指導者研修会

表7- (1) - ウ - 1 食育指導者研修会実施状況

講習会名	回数	参加延人員	主な内容
食育指導者研修会	1	11名	講演 「基本的な生活習慣とこどもの成長 ～子どもを取り巻く大人へのアプローチ～」 講師 目白大学人間学部子ども学科 教授 村越 晃 氏

エ. 栄養関係団体育成指導

表7- (1) - エ 栄養関係団体育成指導状況

団体名	回数	参加延人員	主な内容
香取保健所管内 食生活改善協議会	4	114名	研修会：講演・運動実習 役員会：会の運営について助言
香取保健所管内 栄養士会	9	195名	研修会：情報交換・事例発表・グループワーク・ 講演・事業説明 役員会：会の運営について助言
香取保健所管内 調理師会	4	54名	研修会：講話・栄養価計算演習 役員会：会の運営について助言
千葉県保育協議会 香取支会給食委員会	3	45名	研修会：講話 役員会：運営についての助言

オ. 管内行政栄養士研究会

表7-(1)-オ 管内行政栄養士研究会実施状況

研究会名	主 な 内 容	参加人員
管内行政 栄養士 業務研究会	第1回 「香取地域における災害時栄養・食生活支援のあり方について」の検討 ・グループワーク「地域の現状把握及びリスクの共有」	7名
	第2回 「香取地域における災害時栄養・食生活支援のあり方について」の検討 ・グループワーク「他地域における事例共有」 ・講話及び情報交換「災害時対応マニュアルについて」 講師 旭市健康管理課 實川 圭子 氏	6名
	第3回 「香取地域における災害時栄養・食生活支援のあり方について」の検討 ・グループワーク「香取地域における非常災害時活動の検討」 次年度計画	7名

カ. 国民健康・栄養調査

表7-(1)-カ 国民健康・栄養調査実施状況

調査名	調査年月日	調査地区	調査内容
国民健康・ 栄養調査	栄養摂取状況調査	香取市	栄養摂取状況調査
	生活習慣調査		(世帯状況、食事状況、食物摂取状況、1日の歩行数)
	平成24年11月5日	佐原地区	生活習慣調査
	身体状況調査		(喫煙習慣、飲酒習慣、歯科検診受診状況等)
平成24年11月6日		身体状況調査	
	11月8日		(身長、体重、腹囲、血圧、血液検査、運動の状況等)

キ. 食品製造業者及び販売者への指導

表7-(1)-キ 食品に関する表示指導の状況 (単位:件)

指導内容	指導件数
特別用途食品及び特定保健用食品について	— (—)
栄養表示基準について	5 (—)
栄養機能食品について	— (—)
虚偽誇大広告について	1 (—)
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)	— (—)

(注) () 内は、特定保健用食品再掲

ク. 特別用途食品表示許可取扱状況

表7-(1)-ク 特別用途食品表示許可取扱状況 (単位:件)

内 容	指導件数
新規許可申請受付数	— (—)
消滅事由該当届出数	— (—)
申請・表示事項変更届数	— (—)

(注) () 内は、特定保健用食品再掲

ケ. 調理師試験及び免許取得状況

表 7 - (1) - ケ 調理師免許取扱状況

(単位：人)

年 度	調理師試験			免許交付		
	受験者数	合格者数	合格率 (%)	新規交付	書換交付	再交付
平成 22 年度	51	40	78.4	52	9	14
平成 23 年度	28	14	50.0	37	11	14
平成 24 年度	39	20	51.3	30	14	15

コ. 健康ちば協力店推進事業実施状況

食環境整備の一環として、メニューの栄養成分表示や健康に配慮したメニューの提供等に取り組み、「健康ちば協力店」の登録推進を図ると共に、県民の認知度を高めるため啓発普及に努めた。

表 7 - (1) - コ 健康ちば協力店推進事業実施状況

登録累計数	平成 24 年度登録数	飲食店に対する普及啓発及び指導状況	県民に対する普及啓発及び指導状況
48	1	個別：1 件 集団：3 回 36 名	個別：－ 集団：1 回 137 名

(2) 給食施設指導

管内給食施設を対象に、安全で適切な食事が提供されるよう関係職員とともに、栄養管理及び食品・環境衛生管理について指導した。

また、給食施設管理者及び従事者に対して講習会を開催し、給食管理の向上ならびに衛生知識の普及に努めた。

表 7 - (2) 給食施設状況

施設総数	管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設		管理栄養士必置指定施設	栄養成分表示施設数
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数	施設数	該当数		
76	10	11	16	22	24	22	25	28	－	－	75

ア. 給食管理等施設指導

表 7 - (2) - ア 給食施設指導状況

区 分			計	特 定 給 食 施 設		そ の 他 の 給 食 施 設		それ未満の給食施設
				1 回 300 食以上 又は 1 日 750 食以上	1 回 100 食以上 又は 1 日 250 食以上	1 回 50 食以上 又は 1 日 100 食以上		
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	75	8	34	31	2	
		その他指導施設	65	4	23	34	4	
	喫食者への栄養・運動指導	延 人 員	－	－	－	－	－	
集団指導	給食管理指導	回 数	3	3	3	3	3	
		延 人 員	137	10	60	64	3	
	喫食者への栄養・運動指導	回 数	－	－	－	－	－	
		延 人 員	－	－	－	－	－	

イ. 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

区分	栄養士の有無	総数		特定給食施設				その他の給食施設		それ未満の給食施設	
				1回300食以上 又は1日750食以上		1回100食以上 又は1日250食以上		1回50食以上 又は1日100食以上			
		施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数
合計		76	75	8	8	34	34	31	31	3	2
計	有	48	47	8	8	24	24	15	15	1	—
	無	28	28	—	—	10	10	16	16	2	2
学校	有	8	8	7	7	1	1	—	—	—	—
	無	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—
病院	有	9	8	1	1	4	4	3	3	1	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
介護老人 保健施設	有	4	4	—	—	4	4	—	—	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
老人福祉施設	有	10	10	—	—	6	6	4	4	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
児童福祉施設	有	7	7	—	—	6	6	1	1	—	—
	無	24	24	—	—	8	8	15	15	1	1
社会福祉施設	有	7	7	—	—	2	2	5	5	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
矯正施設	有	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寄宿舍	有	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無	1	1	—	—	—	—	—	—	1	1
事業所	有	2	2	—	—	1	1	1	1	—	—
	無	2	2	—	—	2	2	—	—	—	—
一般給食センター	有	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	有	1	1	—	—	—	—	1	1	—	—
	無	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ウ. 給食施設開始及び廃止指導状況

表7-(2)-ウ 給食施設開始及び廃止指導状況

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	1	2	15
指導数	3	5	14

エ. 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会

表7-(2)-エ 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会実施状況

研 修 会 名	開 催 年 月 日	主 内 容	参 加 人 員
衛生講習会	平成 24 年 7 月 12 日	講演「給食施設における衛生管理」 その他・平成 24 年度給食施設巡回指導結果(栄養管理)から ・平成 23 年度給食施設栄養管理状況報告書集計結果と 様式の変更について ・災害時における給食提供に関するアンケート結果に ついて ・千葉県民の健康と栄養の状況について 対象：管内給食施設管理者及び従事者	89 名
保育所給食施設研修会	8 月 29 日	講話「保育所における食事の提供について ～既存資料の有効活用について～」 対象：管内保育所給食従事者	22 名
千葉県保育協議会香取支会料理講習会	9 月 11 日	講話「保育所における食事の提供について ～献立作成について～」 対象：千葉県保育協議会香取支会料理講習会参加者 (管内保育所給食従事者)	30 名

8. 歯科保健事業

(1) 訪問歯科保健医療サービス推進研修会

表8-(1) 訪問歯科保健医療サービス推進研修会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	受 講 者 数
平成 25 年 1 月 11 日	講演 「在宅要介護者等の口腔保健管理の重要性について」 講師 礒歯科医院 院長 礒 和博 氏 実習 「口腔ケア実践のポイントと口腔清掃の方法」 講師 歯科衛生士 平間 淑子 氏	20 名

(2) 難病及び障害者等歯科保健サービス推進研修会

表8-(2) 難病及び障害者等歯科保健サービス推進研修会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	受 講 者 数
平成 24 年 10 月 22 日	講演「生活習慣病と口腔ケアについて」 実技「歯周病予防のケアの方法について、ブラッシング 指導、健口体操、口腔チェック」 講師 歯科衛生士 鈴木 純子 氏	7 名

9. 市町村支援

業務連絡会で各保健事業の計画・実施・評価について検討すると共に、健康づくり推進協議会など広域的な立場に立って、管内市町の事業の円滑な推進や向上が図られるよう支援した。

また、平成25年4月1日より基礎自治体へ権限移譲される未熟児養育医療等の円滑な実施のため、管内市町担当者を対象とした権限移譲事務等に関する説明会を開催した。

また、2町から依頼があり、2名の新任の町保健師に研修を実施した。さらに、町及び健康福祉センターの新任保健師、プリセプター等の交流会を開催し、研修の評価や意見交換を行った。

表9 市町への支援状況

区分	会 議 ・ 連 絡 会 等			
	会 議 名	回 数	職 種 、 人 員	主 な テ ー マ
香 取 市	業務連絡会	1	保健師 4	事業について情報交換・意見交換
	健康づくり推進協議会	1	課 長 1	市保健事業実績報告計画等
	地域自立支援協議会	2	課 長 2	第2次障害者計画・第3次障害福祉計画の策定について 災害に関する福祉避難所について
	スポーツ振興審議会	2	保健師 2	スポーツ振興について
	香取市総合福祉推進協議会	2	課 長 2	基本計画や施設等の整備について
神 崎 町	業務連絡会	1	保健師 2	事業について情報交換・意見交換
	健康づくり推進協議会	1	課 長 1 保健師 1	現状と次年度の事業予定について
多 古 町	業務連絡会	1	保健師 1	事業について情報交換・意見交換
	新任保健師研修	18	保健師 20 看護師 1 精神保健福祉士 1	研修打合せ、地区診断、事例検討、研修の評価、同行訪問、保健所事業への参加等
	地域自立支援協議会	2	課 長 1 事 務 1	委嘱状交付、部会組織の設置について相談支援部会の設置
東 庄 町	業務連絡会	1	保健師 1	事業について情報交換・意見交換
	新任保健師研修	5	保健師 5	研修打合せ、事例検討、同行訪問、保健所事業への参加等
	保健推進協議会	1	課 長 1	保健衛生事業実績及び計画について
	障害者自立支援協議会	2	課 長 2	平成24年度の活動について 平成25年度計画について
管 内 市 町	基礎自治体への権限移譲に係る説明会	1	課 長 1 保健師 3	権限移譲される制度について 養育医療給付事務・育成医療給付事務の実際 低出生体重児管理と未熟児訪問指導について
	新任保健師交流会 (多古町・東庄町)	2	課 長 2 保健師 8	活動状況の報告 事例の検討 新任期の評価について

10. 精神保健福祉対策事業

(1) 管内精神病院と入院等の状況

表10-(1)-ア 管内病床数・入院患者等の状況(平成25年6月30日現在)(単位:件)

区分 年度・市町別	管内人口	精神病院数	病床数	人口万対病床数	県内病院への入院患者数(a)	人口万対入院患者数	措置患者数(b)	人口万対措置患者数	措置率	管内患者の入院先(再掲)					
										圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
										管内病院		管外病院			
										数	%	数	%	数	%
平成22年度	120,193	1	180	15.0	332	27.6	3	0.2	0.9	123	37.0	47	14.1	162	48.7
平成23年度	119,406	1	180	15.1	320	26.8	2	0.2	0.6	120	37.5	45	14.1	155	48.4
平成24年度	117,708	1	180	15.3	330	28.0	1	0.1	0.3	113	34.2	42	12.7	175	53.0
香取市	80,979	1	180	22.2	229	28.3	1	0.1	0.3	91	40.0	20	8.7	118	51.5
神崎町	6,395	-	-	-	17	26.6	-	-	-	2	11.8	-	-	15	88.2
多古町	15,531	-	-	-	47	30.3	-	-	-	7	14.9	11	23.4	29	61.7
東庄町	14,803	-	-	-	37	25.0	-	-	-	13	35.1	11	29.7	13	35.1
県全体	6,197,944	53	12,620	20.4	9,252	14.9	88	0.1	1.0	6,133	-	-	-	-	-

(注1) 人口は、7月1日現在(千葉県毎月常住人口調査による)

(注2) 措置率 = $b/a \times 100$

(注3) 県外の入院患者2,139人を含む県内精神科病院への全入院患者11,523人で計算した、人口万対入院患者数は18.6人

表10-(1)-イ 管内病院からの届出等の状況

(単位:件)

種別 年度別	医療保護入院届(保護者の同意)	医療保護入院届(扶養義務者の同意)	応急入院届	医療保護入院者の退院届	措置症状消退届	措置入院定期病状報告書	医療保護入院定期病状報告書
平成22年度	41	11	-	41	3	4	78
平成23年度	24	10	-	35	6	2	80
平成24年度	45	14	-	31	2	2	75

(2) 措置入院関係

表10-(2)-ア 申請・通報・届出処理状況

(単位：件)

年度・ 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の 必要が ないと 認めた 者	法第27条の診察を受けた者			緊急措置 入院件数 (再掲)
			法第29条 該当症状の者	その他の 入院形態	通院・その 他	
平成22年度	21	13	5	—	3	3
平成23年度	26	17	8	1	6	—
平成24年度	34	33	1	—	—	1
法報第23条 一般人からの申請	—	—	—	—	—	—
法第24条 警察官からの通報	26	25	1	—	—	1
法第25条 検察官からの通報	2	—	2	—	—	—
法第25条の2 保護観察所の長からの通報	—	—	—	—	—	—
法第26条 矯正施設の長からの通報	8	8	—	—	—	—
法第26条の2 精神病院管理者からの届出	—	—	—	—	—	—
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医 療機関管理者及び保護観察 所長の通報	—	—	—	—	—	—

表10-(2)-イ 被申請・通報・届出者の病名

(単位：件)

年度・ 結果	病名	総 数	統 合 失 調 症	躁 うつ 病	器 質 性 精 神 障 害		中 毒 性 精 神 障 害			そ の 他 の 精 神 病	神 経 症	人 格 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他
					痴 呆 性 疾 患	そ の 他	中 ア ル コ ー 毒 ル	覚 醒 剤 中 毒	そ の 他						
平成22年度		21	6	5	1	—	1	5	—	—	—	—	1	—	2
平成23年度		26	8	3	1	1	2	4	—	2	2	—	1	—	2
平成24年度		34	12	3	1	—	—	5	—	—	3	2	1	1	6
診察実施	要措置	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	不要措置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
診 察 不 要		33	12	2	1	—	—	5	—	—	3	2	1	1	6

表10-(2)-ウ 入院期間別措置入院患者数

(平成25年3月31日現在) (単位：件)

措置入院期間 年度別	総数	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成22年度	7	5	—	2	—
平成23年度	10	7	1	—	2
平成24年度	3	2	—	1	—

(3) 医療保護入院のための移送 (法第34条)

(単位:人)

区 分	受 付 件 数	指定医の診察件数	移 送 件 数
平成24年度	—	—	—

(4) 通院医療費及び保健福祉制度関係

表10-(4)-ア 自立支援医療(精神通院医療)患者数(単位:人)

年度・市町別	公費負担患者数
平成22年度	908
平成23年度	945
平成23年度	982
香 取 市	691
神 崎 町	55
多 古 町	126
東 庄 町	110

(平成25年3月31日現在)

表10-(4)-イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数

(平成25年3月31日現在)(単位:人)

区分 年度・ 市町別	手 帳 所 持 者 数			
	計	1級	2級	3級
平成22年度	299	72	173	54
平成23年度	329	68	208	53
平成24年度	340	66	228	46
香 取 市	243	51	164	28
神 崎 町	16	3	10	6
多 古 町	39	7	28	7
東 庄 町	31	5	25	5

表10-(4)-ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況

(単位:件)

区分 年 度	社会復帰施設利用件数		社会適応訓練 申込書受理件数	生計同一常時 介護証明書 発行数
	入所報告書	退所報告書		
平成24年度	—	—	—	—

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

表10-(5)-ア 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 年度・区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
平成22年度	66	34	32	-	1	31	26	7	1	148
平成23年度	61	43	18	-	2	27	26	7	1	161
平成24年度	104	56	48	-	3	25	64	8	4	354
香 取 市	78	43	35	-	2	16	51	6	3	284
神 崎 町	6	2	4	-	-	3	3	-	-	17
多 古 町	10	5	5	-	-	5	3	2	-	30
東 庄 町	3	3	-	-	1	1	1	-	-	5
管外・不明	7	3	4	-	-	-	6	-	1	18
相 談	72	40	32	-	3	15	46	4	4	201
訪 問	32	16	16	-	-	10	18	4	-	153

表10-(5)-イ 電話相談延件数 (単位：件)

性 別	延 件 数
男	310
女	459
不 明	4

表10-(5)-ウ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種 別 年度・区分	総 数	精神障害に関する相談					中毒性精神障害 に関する相談			診 心 察 の 健 康 相 談 に 関 す る こ と	社 会 の 復 帰 等 相 談	思 春 期 の 相 談	生 老 年 期 の 相 談	手 帳 ・ 通 院 公 費 負 担 相 談	そ の 他 の 公 費 負 担 相 談
		診 察 に 関 す る こ と	社 会 復 帰 等	生 活 支 援	手 帳 ・ 通 院 公 費 負 担	そ の 他 の 相 談	ア ル コ ー ル	覚 醒 剤	そ の 他 の 中 毒						
平成22年度	148	37	7	50	-	22	5	10	1	1	1	4	10		
平成23年度	161	57	10	20	1	11	10	27	9	2	-	5	9		
平成24年度	354	73	20	95	-	44	12	40	10	12	1	17	21		
相 談	計	201	31	12	59	-	29	11	10	4	11	1	16	17	
	男	119	10	6	36	-	23	11	10	2	6	1	9	5	
	女	82	21	6	23	-	6	-	-	2	5	-	7	12	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
訪 問	計	153	52	8	36	-	15	1	30	6	-	-	1	4	
	男	96	23	6	27	-	3	1	30	6	-	-	-	-	
	女	57	29	2	9	-	12	-	-	-	-	-	1	4	

表10-(5)-エ 援助の内容(延数)

(単位:件)

年度・区分	内容	総 数	医 学 的 指 導	受 療 援 助	生 活 支 援	生 活 指 導	社 会 復 帰 援 助	紹 介 連 絡	方 針 協 議	関 係 機 関 調 整	そ の 他
平成22年度		148	21	17	48	5	11	9	37		
平成23年度		168	36	12	47	8	6	26	26		
平成24年度		355	38	42	127	17	11	41	79		
相 談		202	30	4	76	10	8	25	49		
訪 問		153	8	38	51	3	3	16	30		

(6) 精神障害者社会復帰関係

デイケアクラブ

- 1) 実施日時 第3水曜日 9時30分～13時
 2) 対象 在宅の精神障害者
 3) スタッフ 精神保健福祉士、看護師

ピア・サポート研修

- 1) 開催数 4回
 2) 対象 精神障害

表10-(6)-ア デイケアクラブの活動状況

(単位:人)

区分 年度	開 催 回 数	参 加 者	
		実 人 数 (男・女)	延 人 数 (男・女)
平成22年度	11	5(3・2)	21(12・9)
平成23年度	11	6(1・5)	19(2・12)
平成24年度	3	3(1・2)	4(2・2)

表10-(6)-イ デイケアクラブの活動状況

(単位:人)

実施場所	プログラムの内容	平均参加者数	スタッフ
香取保健所	料理教室・生活教室(レクリエーション等)	1.33	精神保健福祉士 相談員・看護師

表10-(6)-ウ ピアサポート研修

(単位:人)

開催日	受講者数	内 容
平成24年 11月15日	21名	『ピアサポートとは何か』 講師: オフィス夢風舎 土屋 徹 氏
12月20日	18名	『病気の経験談』 講師: ピアサポーター 関 真佐江 氏 もくせい舎ピアスタッフ 戸辺 博之 氏 香取健康福祉センター 鈴木 剛
平成25年 1月17日	11名	『リカバリーストーリーについて』 講師: ぴあ・さぼ千葉 松原 祐 氏、斉田 玄 氏
2月21日	18名	『グループピアカウンセリングの実際』 講師: ぴあ・さぼ千葉 松原 祐 氏、斉田 玄 氏

(7) 地域精神保健福祉関係

表10-(7)-ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	回数	延人数	対 象 者 等
<会議> 管内精神保健連絡協議会	1	24	市町、医療機関、民生委員、社会復帰施設、 家族会、警察
精神保健医療福祉にかかる連絡 会議	—	—	医療機関、市町精神保健福祉担当者、保健 所職員
<研修会> 市町等精神保健福祉担当者研修	1	19	市町精神保健福祉担当者

表10-(7)-イ 家族教室等開催状況

開催日	受講者数	内 容
平成24年 8月8日	33名	『行動の問題』の理解と対応 講師: こども発達支援室そらいろ 中島 展 氏
9月26日	38名	『アルコール依存症とは』 講師: 医療法人静和会浅井病院 作田 滋 氏
10月19日	33名	『アルコール依存症の家族が理解し ておきたいこと』 講師: 船橋北病院 小野 仁彦 氏
11月9日	30名	アルコール依存 『本人の体験談、家族の体験談』 講師: 回復者2名、家族1名

11. 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の社会福祉の増進に努めることを本務として、自主的な活動を行っているほか、行政機関への協力者として活動している。

表 11 民生委員・児童委員配置状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

区分 市町別	定 数	現 員			左の内訳	
		民生委員 児童委員	主任児童委員	計	男	女
総 計	270	231	35	266	177	89
香 取 市	190	159	29	188	129	59
神 崎 町	15	12	2	14	4	10
多 古 町	34	31	2	33	27	6
東 庄 町	31	29	2	31	17	14

12. 児童福祉

(1) 児童扶養手当

父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給している。

ア. 児童扶養手当受給者数

表 12-(1)-ア 児童扶養手当受給者数 (単位:世帯)

町 別	受給者数	平成 24 年度受給資格認定件数
総 計	218(13)	27(4)
神 崎 町	43(2)	5(-)
多 古 町	90(4)	15(2)
東 庄 町	85(7)	7(2)

()内は父子世帯の再掲

イ. 児童扶養手当受給者の世帯類型別

表 12-(1)-イ 児童扶養手当受給者の世帯類型別

区分 町別	世 帯 類 型 別							計
	生 別 世 帯		死別 世帯	未婚 世帯	障害者 世帯	遺棄 世帯	その他 の世帯	
	離 婚	その他						
総 計	187(12)	—	—	20	—	3(1)	8	218(13)
神 崎 町	36(1)	—	—	5	—	1(1)	1	43(2)
多 古 町	79(4)	—	—	8	—	1(-)	2	90(4)
東 庄 町	72(7)	—	—	7	—	1(-)	5	85(7)

()内は父子世帯の再掲

(2) 特別児童扶養手当

精神または身体に政令で定める程度の障害を有する 20 歳未満の児童を監護している父、若しくは母又は、養育者に対して特別児童扶養手当を支給している。

表 12-(2) 特別児童扶養手当受給状況

区分 市町別	受給者数	支 給 対 象 障 害 児 数							
		身体障害		精神障害		重複障害		計	
		1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級
総 計	180	40	9	55	83	1	—	96	92
香 取 市	123	29	5	36	59	1	—	66	64
神 崎 町	7	1	1	3	2	—	—	4	3
多 古 町	22	4	—	11	7	—	—	15	7
東 庄 町	28	6	3	5	15	—	—	11	18

13. 母子・寡婦福祉資金

母子家庭及び寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉向上を図ることを目的として、母子寡婦福祉資金貸付制度により各種資金の貸付を行っている。

(1) 母子福祉資金貸付状況

表 13- (1) 母子福祉資金貸付状況 (単位：千円)

区分 市町別	事業 開始	事業 継続	修 学	技能 習得	修 業	就 職 支 度	医 療 介 護	生 活	住 宅	転 宅	就 学 支 度	結 婚	合 計
総 計	—	—	3,072	2,512	—	—	—	3,360	—	—	740	—	9,684
香 取 市	—	—	3,072	2,512	—	—	—	3,360	—	—	590	—	9,534
神 崎 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多 古 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150	—	150
東 庄 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 寡婦福祉資金貸付状況

表 13- (2) 寡婦福祉資金貸付状況 (単位：千円)

区分 市町別	事業 開始	事業 継続	修 学	技能 習得	修 業	就 職 支 度	医 療 介 護	生 活	住 宅	転 宅	就 学 支 度	結 婚	合 計
総 計	—	—	3,072	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,072
香 取 市	—	—	3,072	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,072
神 崎 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多 古 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 庄 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

14. 高齢者福祉

(1) 満百歳者に対する祝品等贈呈事業

満百歳者に対し社会発展の功労者として敬愛し、長寿を祝福するため内閣総理大臣から祝状及び記念品を贈呈している。

表 14- (1) 満百歳者 (毎年9月1日現在)

区分 市町別	満百歳者	左 の 内 訳	
		男	女
総 計	24	2	22
香 取 市	16	2	14
神 崎 町	1	—	1
多 古 町	3	—	3
東 庄 町	4	—	4

※明治45年4月1日～大正2年3月31日生まれ

(2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給事業

老人福祉施設の入所者で、公的年金などを受給していない人に対し法外援護給付金を支給している。

表 14-(2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給状況

支給金額 (円)	支給実人員	支給総額 (円)
1 人月額 4,700	15	831,900

15. 障害者福祉

(1) 在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業

在宅の重度知的障害者及びねたきり身体障害者又はその家族に、市町村が行う手当の給付に対して補助金を交付している。

表 15-(1) 在宅重度知的障害者福祉手当・ねたきり身体障害者福祉手当受給状況

区分 市町別	在宅重度知的障害者		ねたきり身体障害者	
	件数	補助金額(円)	件数	補助金額(円)
総計	79	3,633,000	1	51,900
香取市	70	3,200,500	—	—
神崎町	6	311,400	—	—
多古町	3	121,100	1	51,900
東庄町	—	—	—	—

(2) 地域相談員の委嘱

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例の地域相談員として適格者を委嘱している。

表 15-(2) 地域相談員の委嘱状況

区分 市町別	現 員				左の内訳	
	身体障害者相談員	知的障害者相談員	その他相談員	計	男	女
総計	10	8	(12)	30	20	10
香取市	5	5	(7)	17	11	6
神崎町	1	1	(-)	2	1	1
多古町	2	1	(4)	7	5	2
東庄町	2	1	(1)	4	3	1

()は平成 23 年度に千葉県健康福祉部障害福祉課で委嘱

(3) 重度身体障害児・者日常生活用具取付費補助事業

在宅の重度身体障害児・者の入浴担架、浴槽等の日常生活用具の取り付けに必要な経費を助成している。

表 15-(3) 重度身体障害児・者日常生活用具取付費補助状況

市 町	件 数	内 容	補助金 (円)
総 計	—	—	—
香 取 市	—	—	—
神 崎 町	—	—	—
多 古 町	—	—	—
東 庄 町	—	—	—

16. 配偶者暴力相談支援事業

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV 防止法) に基づいて、配偶者暴力相談支援センターに指定され事業を実施している。配偶者(婚姻関係と同様の事情にある者を含む)からの暴力を受けた被害者からの相談を受け、必要な助言・支援を行っている。

表 16 配偶者暴力相談支援状況

総相談件数			来所相談件数			電話相談件数			書面提出件数	通報件数
総数	うち DV	内閣府報告分	総数	うち DV	内閣府報告分	総数	うち DV	内閣府報告分		
50	35	30	7	7	7	43	28	23	2	—

17. 戦傷病者の援護

(1) 補装具の交付及び修理

戦傷病者手帳の交付を受けた戦傷病者に対し、補装具の交付と修理を行っている。

表 17-(1) 補装具の交付及び修理状況

区 分	件 数	費用総額 (円)
総 計	2	99,766
交 付	1	93,886
修 理	1	5,880

(2)戦傷病者乗車券引換証の交付

戦傷病者手帳の交付を受けた戦傷病者に対して、戦傷病者乗車券引換証の交付・変更事務を行っている。

表 17-(2) 戦傷病者乗車券引換証の交付状況

交付・変更別	件数	変更前種別・枚数	変更後種別・枚数
交付	—	—	—
変更	—	—	—

18. 児童手当・子ども手当事務指導監査

表 18 児童手当事務指導監査状況

実施市町	実施月
香取市	平成 25 年 2 月
神崎町	平成 25 年 2 月

19. 中核地域生活支援センター連絡調整会議

中核地域生活支援センターをサポートし、関係機関との連絡調整会議等を開催している。
平成 24 年度は開催せず

20. 福祉関係団体育成指導

管内住民の福祉の向上を図るため、福祉に携わる団体等を育成・指導している。

表 20 福祉関係団体育成指導状況

団体名	回数	参加延人員	主な内容
日赤千葉県支部香取地区	12	115 名	奉仕団総会 8 名、一日赤十字 27 名、赤十字のつどい 12 名、救急法フェスタ 23 名、成田赤十字病院奉仕活動 5 名×6 日、研修 15 名